

平成 27(2015)年度 第 1 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	7 月 7 日 (火)	8 名	箕面学園高等学校
第 2 回	1 0 月 2 3 日 (金)	1 2 名	箕面自由学園高等学校
第 3 回	2 月 2 6 日 (金)	6 名	聖母被昇天学院中学校高等学校
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

今年度のテーマ設定はしなかった

が、一回目はオリエンテーションで見たパワーポイントを鑑賞し意見交換した。

毎回、おすすめ本を持ち寄って紹介した。

必ず図書館運営についての質問が出るので、各校の現状を話し合い、対策を共有し合う場となった。

●今年度のまとめ

- ・ 2 7 年度最初の地区会で、今後の地区会運営について議論

年々、地区会維持のための開催になりつつあるので、地区会活動のステップアップとして他地区との合同開催を検討することに決定した。

- ・ 1 0 月に、第 4 地区との合同地区会を開催

他地区の学校の活動状況がわかり有意義な面もあるが、時間的な制約（会場校への移動時間、十分に議論できる時間がとれない）もあって一長一短であった。

- ・ 次年度地区代表の選出にも苦勞する。

地区会への参加校が固定化しつつあるので、地区代表を担当すると結果的には長期にわたって務めることになってしまう。

図書館業務のほかに他の分掌も兼務している方が多く、時間がとれないといった問題もある。

●次年度にむけての活動内容

- ・ 引き続き、地区会のステップアップ策を検討していく。

- ・ 参加されていない学校や、地区会の会場となっていない学校へ出向き、見学させてもらう企画にしたい。

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	2月 24日 (水)	4名	大阪府立吹田東高等学校
第 2 回	4月 27日 (水)	4名	大阪府立茨木西高等学校
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

特に設定なし

●今年度のまとめ

2月と年度替わりの4月に実施。

参加者がほぼ同じということで情報交換と図書館見学を行いました。

- ・図書館オリエンテーションについて
- ・図書の購入先や購入方法
- ・図書委員の活動等について

●次年度にむけて活動内容

公立について・・・今まで図書館運営を担っていた実習教員が異動等により図書館業務から離れ校務分掌として担当される教諭等が増えているため、会議の参加が少ない。

私学について・・・図書館業務を外部委託や派遣職員・非常勤職員が担っている学校が増えている。それにともなっか、会議や研修に出席できても地区代表等の仕事は受けることができないといった事情のある学校がある。

上記のような事情から、平成 2 9（2017）年度以降の地区代表者の選出をどうしていくかが検討事項になっていく。情報交換をしながら地区会議の中身と代表の選出方法について探っていきたい。

平成 27(2015) 年度 第 3 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	7 月 8 日 (水)	11 名	プール学院 学習情報センター
第 2 回	12 月 9 日 (水)	10 名	大阪信愛女学院中高等学校 図書館
第 3 回	2 月 24 日 (水)	5 名	大阪府立淀川工科高校 図書館
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

- 第 1 回 新入生図書館ガイダンスについて おすすめ本の紹介 図書館見学
- 第 2 回 図書館を使った授業の頻度とその内容・その中での司書教諭や司書の役割
利用率（貸出・入館）や生徒の・教員の読書の傾向について
おすすめ本の紹介 図書館見学
- 第 3 回 情報交換 おすすめ本の紹介 図書館見学

●今年度のまとめ

- ・例年、新入生向けのガイダンス・オリエンテーションを実施している学校がほとんどである。実施している内容の交流は役に立つことが多い。していなかった学校も来年度に向けて考慮中。
- ・図書館を使っの授業、調べ学習については各校によってさまざまである。が、利用にあたって、教科担当の先生との準備の際の打ち合わせにもっと時間がほしいとの声が多く出ていた。また、授業の入り込みなどについての打ち合わせの時間も作ってほしい。司書をもっと活用してほしいとの声も出ていました。
- ・なかなか日程が取れない。また、公立は、司書教諭・係り教諭の先生が図書館活動を担っているため、研修等に出にくい。
- ・おすすめ本の紹介は、選書の際の参考になる。
- ・図書館見学についても、レイアウトなど刺激を受けることが多い。
- ・地区代表の順番を確認した。公立は新学期になって確認作業がいる。

●次年度にむけて活動内容

- ・魅力ある図書館づくり
- ・おすすめ本の紹介
- ・図書館見学

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	5 月 13 日 (水)	15 名	あべの翔学高等学校
第 2 回	7 月 10 日 (金)	13 名	帝塚山学院中学高等学校
第 3 回	10 月 23 日 (金)	12 名	箕面自由学園高等学校
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

「魅力ある図書館づくり」をテーマに、各校での工夫や実践を話し合う。

・第 1 回

図書館研究会総会の報告、各校の近況報告、その他の連絡

・第 2 回

地区代表の紹介、各校の近況報告、その他の連絡

・合同地区会

各校の近況報告、相談・意見交換

●今年度のまとめ

- ・各校の「図書館報」や「おすすめ本」の紹介。
- ・図書の督促について悩んでいる学校が多く、延滞を減らすための意見交換を行う。
- ・図書館での隠れた飲食、本棚などへのゴミの放置についての意見交換を行う。
- ・ライトノベルやマンガの購入基準や扱いについての意見交換を行う。
- ・古い図書の廃棄基準などについて意見交換を行う。

●次年度にむけて活動内容

- ・図書専任教員の少ない公立高校の出席が困難な現状のなか、情報共有・交換を行うための対策が必要である。
- ・メールなどを送っても、どれだけの先生が読まれているのか分からないのが不安である。

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	1 0 月 1 4 日 (水)	7 名	大阪府立芦間高等学校
第 2 回	1 2 月 9 日 (水)	5 名	大阪国際大和田中・高等学校
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

- ・各学校の図書館活動の意見交換
- ・地区代表者会議からの報告
- ・事例報告
- ・情報交換
- ・各学校の資料の交換

●今年度のまとめ

- ・どこの学校も、図書の係が安定していない。
- ・地区代表を五十音順にて輪番で担当することになった。これを受けて次の地区代表をお願いしていくが、立場的にうまくいくか疑問が残ると意見が出た。
- ・図書の係がどこの学校も流動的で地区代表をきめにくい。
- ・公立から 1 校、私立から 1 校のほうが通送便を使用できてよいのでは。
地区会への参加者が少ないが、意見交換ができたのはよかった。

●次年度にむけて活動内容

- ・意見交換を中心に進めるとよいと思われる。

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	5 月 20 日 (水)	9 名	大阪府立枚岡樟風高等学校
第 2 回	7 月 3 日 (金)	14 名	アナン学園高等学校 (旧樟蔭東)
第 3 回	10 月 14 日 (水)	10 名	大阪府立中央図書館
第 4 回	12 月 9 日 (水)	14 名	大阪府立布施工科高等学校
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

- ・テーマ決めず。
- ・各校の現状など情報交換を行う。

●今年度のまとめ

- ・毎回、各校より持ち寄った「図書館報」を紹介。
- ・生徒図書委員会について、各校の活動の様子を紹介。
- ・“高校生にすすめる本”の手書き POP の作成—電子データにして配りました。
- ・「君に贈る本大賞アンケート（読売新聞社）に参加。

テーマは「中高生に勧めたい『泣ける本』」—出席して頂いた先生方にその場で回答してもらいました。

- ・今年度も、府立中央図書館より参加してくださいました。

1. 高校生のための図書館講座

講座時間は 2～3 時間程度、基本＋選択コース（最大 2 つまで）の組み合わせで受講できる（計画中）

2. 「ヤングアダルト YA!YA!YA!」リーフレット特集号の原稿募集

各校の図書委員や図書室を利用する生徒が書いた紹介文をリーフレットに収める。

3. 特別貸出用図書セット—2 か月、直接来館か郵送（学校持ち）。平成 28 年度、中高生向けの充実を考えている。

●次年度にむけて活動内容

図書担当者の兼務、日常業務の増加など、地区会への出席が困難になりつつある現状で、地区代表者の負担は大きい。しかし、初めて図書を担当する方も増えてきているので、情報交換の場は必要であると思う。早急に、継続していくための対策が必要。

平成 27(2015) 年度 第 7 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	月 日 ()	名	
第 2 回	月 日 ()	名	
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

●今年度のまとめ

活動休止中。

●次年度にむけて活動内容

次年度もおそらく活動は休止。

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	5 月 13 日 (水)	15 名	堺市立中央図書館
第 2 回	7 月 1 日 (水)	11 名	大阪府立東百舌鳥高等学校
	7 月 22 日 (水)	11 名	大阪府立東百舌鳥高等学校
第 3 回	10 月 14 日 (水)	11 名	大阪府立堺工科高等学校
第 4 回	12 月 9 日 (水)	10 名	大阪商業大学堺高等学校
第 5 回	2 月 3 日 (水)	9 名	大阪府立堺西高等学校

●今年度研究課題（活動概要）

1. 公立図書館との連絡会

第 1 回地区会開催後、公立図書館との連絡会を開催。ヤングアダルトの読書についての情報交換や堺市立図書館が行っている団体貸出、電子図書館の利用についてなどの説明を受けた。

2. 生徒図書委員交流会

参加者：生徒 23 名、教職員 11 名、堺市立図書館 3 名

ピア・サポートのワークを利用した生徒主体で運営する交流会。図書館サイン「おすすめ本」看板の作成、蔵書を利用したおすすめ本の紹介を行った。

3. 大阪高図研 SNS の活用

登録方法の説明から実際の書き込み、どんなサイトなら利用したいと思うかなどを検討した。

4. 図書館運営業務マニュアル作成

5. 図書館の問題点の検討

6. 各校おすすめ本の紹介

教職員からおすすめや、生徒がよく手にとる本、学校図書館に蔵書すべき本など各校から紹介した。

●今年度のまとめ

1、公立図書館との連絡会は、公立図書館と実際に質疑応答が行えること、会議終了後には不要な書籍の払い出しをしていただけることなど、有益な機会である。

2. 図書委員交流会は、生徒からは「楽しかった」、「また来たい」など、良好な感想が多かった。参加校の減少、引率の問題、行事運営時間の問題から、年々運営が難しくなっている。

3. SNS の利用を促しているが、インターネットやコンピュータ自体に苦手意識がある人から、日常的に利用している人までいるので、認識の違いを考えさせられた。

4. 担当者の不在・配置換え等で、図書館業務に支障がある学校も見受けられる。引き継ぎなどを考えた場合にもマニュアルは必要であり、早急に検討すべき課題である。

5. 実際に図書館に行くことで、気づかなかった改善点などを検討することができた。

6. 現物を見ながら情報交換できることや、学校の校風などを自校と比べて蔵書を検討することができることや、関連書籍の情報なども貴重な情報源となっている。

●次年度にむけて活動内容

公立図書館との連絡会並びに第一回地区会を 5 月 11 日に予定している。開催する。地区代表者の当番の決定方法も課題となる。生徒図書委員交流会は継続すべきかどうかとも検討する。

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	1 0 月 2 8 日 (水)	8 名	府立岸和田高等学校
第 2 回	1 2 月 1 6 日 (水)	1 0 名	府立岸和田高等学校
第 3 回	2 月 2 3 日 (火)	8 名	府立岸和田高等学校
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

第 1 回 交流サイト Ponte の使用状況報告

各校の図書館担当者の状況確認（専任司書の有無、兼務の実態、時間軽減など）

岸和田高等学校所蔵の古文書見学

お薦め本の紹介、近況報告

第 2 回（1 部）ペルメル（メモボード）作成

（2 部）各校の図書委員会活動報告

お薦め本の紹介、近況報告

第 3 回（1 部）聞香体験

（2 部）お薦め本紹介、近況報告

●今年度のまとめ

- ・支援学校の参加があった。各校の活動を知ることは、公立・私立の違い、勤務体系などの違いはあるが、図書館利用者である生徒へのサービス向上は等しく必要であるから、研究会や地区会に参加しスキル向上を目指すことは必要だと、参加者の中で確認できたように思う。
- ・毎回持ち寄りのお薦め本は、限られた予算の中での選書に大変役に立ち、また他校で人気本が自校では埋もれていることに気づき、展示などで工夫し日の目をみるようにするなど、地区会に参加して得たものを自校に帰って実践し大変有意義であった。また、推薦本の一冊に掲載されていたペルメルを、図書館で展示に利用できるもの、簡単に作れるが、一人ではつukらないもの、として地区会で作成。推薦本は地区会の活動にも役にたった。
- ・香道の経験者の協力で「源氏香」を体験。いろんなものを見、体験することの大切さを実感した地区会となった。

●次年度にむけて活動内容

体験や見学で見聞を広め、図書館運営に役立てる活動をしていく。